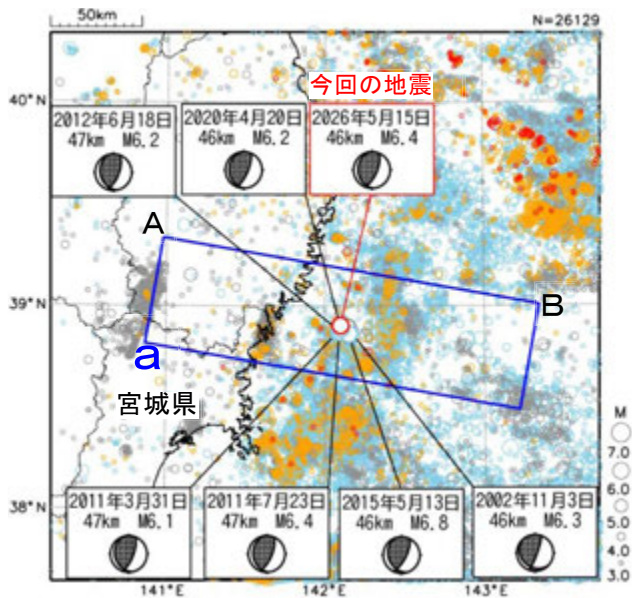


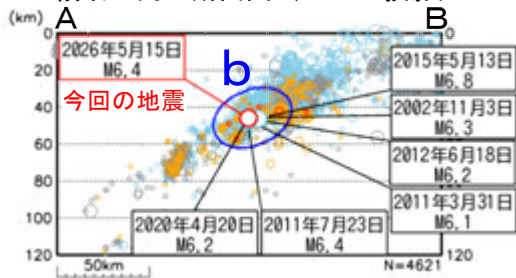
5月15日 宮城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2026年5月31日、
深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$)

○1997年10月1日～2011年2月28日 ○2011年3月1日～2020年8月31日
 ●2020年9月1日～2026年4月30日 ●2026年5月1日以降
 図中の発震機構はCMT解を示す

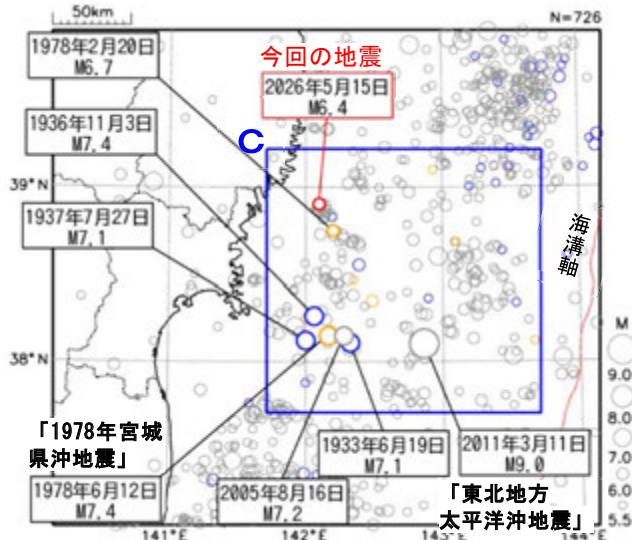


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2026年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$)

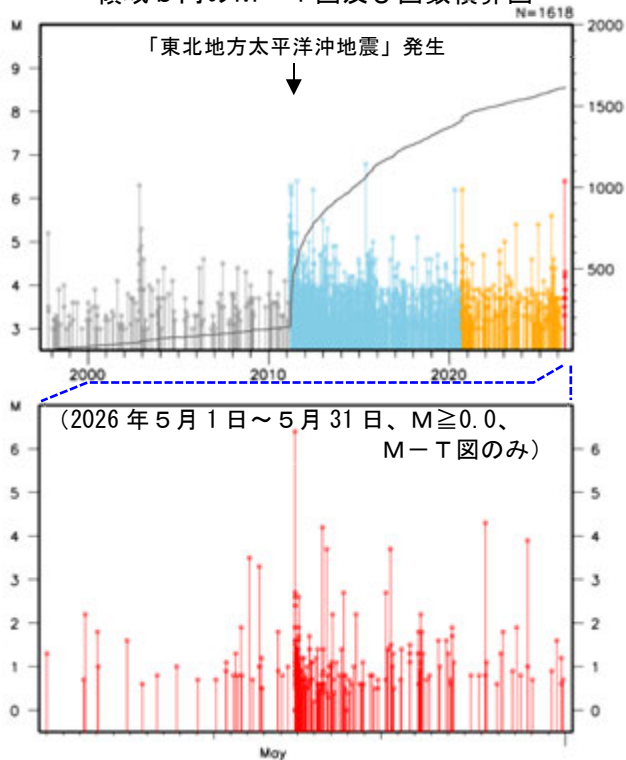
○1933年1月1日～1937年12月31日 ○1978年1月1日～1979年12月31日
 ●2026年5月1日～2026年5月31日 ○上記以外の期間



2026年5月15日20時22分に宮城県沖の深さ46kmでM6.4の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

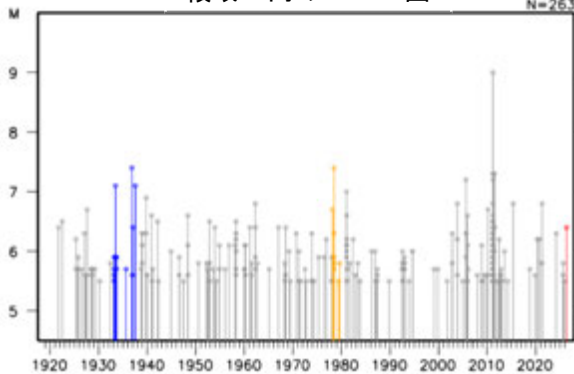
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）以降、地震活動が活発となっており、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では「東北地方太平洋沖地震」のほか、M7.0以上の地震が時々発生している。1978年には「1978年宮城県沖地震」（M7.4、最大震度5）が発生し、仙台新港で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から千葉県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 c 内の M-T 図



気象庁作成